

Shall We Flower?

- 花とあなたを魅せるフラワーメイクサービスの提案 -

札幌市立大学デザイン学部

人間情報デザインコース

1811085 吉中みほ

令和3年12月14日提出

要旨

花が好きで、花で作品や小物を制作したいという気持ちはある人も、実際に制作するまでには踏み出せないことが多い。これは、普段、花との触れ合う機会が少ないことが原因と考えられる。特別な技術がなくても楽しめ、より花との触れ合いが持てる花のサービスを作ることはできないか考えた。

そこで、フラワーメイクサービス「Shall We Flower?」を提案する。花やメイクに興味を持つ、また、持ち始めると考えられる若者を対象に、花をより身近に感じてもらい、普段の生活で花を飾る様になるなど、本サービスを通して花のある生活を送る人が増えるきっかけになって欲しいと考えている。

本研究で提案するフラワーメイクサービスとは、好きな花を目元やなど体の一部に花を飾り、写真を撮影するサービスである。

そして、フラワーメイクサービスの内容を検討した。また、フラワーメイクの見本表、フラワーメイクの試着ができる Instagram のエフェクトを制作し、今回フラワーメイクサービスを受けることができない人にもイメージを伝えられるようなコンテンツも制作した。

アンケート結果から、フラワーメイクサービスの需要はあり、ある程度花により興味を持ってもらえそうであるということが確認できたため、本研究の目的である「花に興味を持ってもらうためのフラワーメイクサービスの提案」は達成できたと考えられる。

本研究を通して、花は特別なものという意識が大きいことがよりわかった。そんな花をより身近に感じることができ、人々に癒しを与えられるサービスや作品も検討していきたい。

今後は、市場縮小や規格外として廃棄される花を使用するなど、環境問題に配慮したサービスにしていきたいと考えている。

目次

第1章 序論	1
1-1 研究背景	
1-2 研究目的	
1-3 本文の構成	
第2章 事前調査	3
2-1 花と人間の関わり	
2-2 フラワーメイクについて	
2-3 現状の問題点と改善案	
第3章 試作品制作	10
3-1 コンセプト	
3-2 アイデア展開	
3-2-1 色とアイデアスケッチ	
3-2-2 使用する材料の検討	
3-2-3 試作	
3-2-4 サービスの流れ	
3-3 制作	
3-3-1 メニューブック	
3-3-2 試着アプリ	
3-4 実際にフラワーメイクを行う	
第4章 アンケート調査	25
4-1 調査方法	
4-2 調査結果と考察	
第5章 フラワーメイクの改善	30
5-1 試作からの変更点	

第6章 結論と展望..... 32

6-1 結論

6-2 展望

謝辞

参考文献

付録：フラワーメイクの見本表

第1章 序論

1-1 背景

花の魅力を伝えるために、花を使った新しい体験を作りたいと考えた。私は、幼い頃から植物が好きで、中でも花は自分にとって身近なものであり、現在はフラワーデザインを習っている。花冠や着物の髪飾りを自作することもあり、友人のものも制作することもある。友人もこのようなものを制作したいという気持ちはある様だが、実際に制作するまでには踏み出せない人が多い。これは、普段の生活において花と触れ合う機会が少ないことが原因と考えられる。特別な技術がなくても楽しめ、より花との触れ合いが持てる花のサービスを作ることはできないかと考えた。

雑誌を見たとき、モデルが目元にカラフルな羽や花をつけるメイクをし、花をあしらったベールを纏った写真が掲載されていた。雑誌のモデルが男性であったが、男女問わず行うことができるメイクであると感じた。そのメイクをもっと活用できないかと考え、フラワーメイクを提案していく。

1-2 目的

本研究では、花と人の魅力を伝えるフラワーメイクサービス、「Shall We Flower?」を提案することを目的とする。

「Shall We Flower?」を通して、花をより身近に感じてもらい、普段の生活で花を飾る様になるなど、花のある生活を送る人が増えるきっかけになって欲しいと考えている。ターゲットとしては、花やメイクに興味を持つ、また、持ち始めると考えられる若者に設定した。

1-3 研究方法

本研究は、フラワーメイクや花を使用したサービスについて調査を行い、1-2の目的を達成できるようなフラワーメイクサービスを制作する。フラワーメイクサービスに必要な材料や行う際のシステムを検討する。そして、実際にフラワーメイクサービスを行い、花により興味を持つことができたかを調査する。

1-4 本文の構成

本論文は、「花により興味を持ってもらうためのフラワーメイクサービスの提案」を研究対象として、卒業研究における調査・分析、またそれに基づく作品の制作過程と検証を記したものである。

第1章では、研究の背景と目的について述べる。

第2章では、フラワーデザインの歴史、またフラワーメイクの事前調査について述べる。

第3章では、フラワーメイクサービスを進める際に必要になる見本表の制作や試着システムの開発を行なった、また、モデルに協力をいただきフラワーメイクを実際行ったことについて述べる。

第4章では、第3章で述べた、フラワーメイクの実施についてのアンケートについて述べる。また、アンケートの結果の分析やその考察を論じる。

第5章では、第4章で述べたアンケート結果の分析や個撮を元に試作品の修正を行なったことを論じる。

第6章では、本研究のまとめと今後の展望について述べる。

第2章 事前調査

2-1 花と人の関わり

花や、その他の植物を使った造形表現をフラワーデザインという。フラワーデザインは、ヨーロッパの花文化であり、海外では「フローラルデザイン(floral design)」という。花、枝、葉、実な植物を素材とした造形表現であり、アレンジメントや花束、ブーケ、オブジェ(図1)や空間ディスプレイなど、植物を素材とする創作物の全てを指す。植物が本来持っている魅力を、人の手が加わることで最大限に引き出し、生活などの用途に合わせてより美しく表現することを目指したものである。なお、図1~5の写真は、筆者が撮影したものである。



図1：ヨーロッパ的な装飾的なデザイン

フラワーデザインの起源は古代エジプト時代にまで遡り、時代とともに発展してきた。特に普及するのは、一般でも花が購入できる様になる20世紀以降で、1930年ごろからイギリスで花店が職業として成立する様になり、アメリカでは幾何学形態(ジオメトリックデザイン)も基礎が整えられた。第二次世界大戦後、ドイツではフラワーデザインの構成理論が確立し、自由なデザイン(フリーフォームデザイン)の創出と自然風のデザインが考えられる様になった(図2,3)。



図2：自然風のデザイン



図3：構成理論に沿った丸い花束

日本のフラワーデザインの起源は、明治時代に宮中晩餐会のテーブルセッティングで西洋式に飾られた花ともいわれ、以降、日本人の生活の西洋化とともに定着していった。日本にはもともと生け花（華道）（図4）という伝統御的な花の文化があり、相互に影響がないわけではないが、フラワーデザインは現代の生活のあらゆる場面で欠かせないものとなっている。具体的には、冠婚葬祭、お祝いの献花などが例に挙げられる^[1]（図5）。



図4：生け花



図5：新婦の花束

フラワーアレンジメントや生花を作る際、大きさの比率が重要になる。基本的に 8:5:3 の比率で主になるところ、対立するところ、寄り添うところと呼ばれている。この比率に則って、花の高さ、ボリュームを決める。そうすることによって、バランスの取れた作品を作ることができる。

花にはいくつかの種類に分類することができる。

まず、形体による分類。形体とは、物理的な形、外形のことで、花の形による分類と、植物の姿・形からくる主張度による分類がある。

○花の形による分類

・ラインフラワー

線的な花。主にデザインの主体になる。デルフィニウム、ペロニカ、キンギョソウなど。

・フォームフラワー

特殊な形体の花。主に最も目立つ位置に使う。大変個性的な花であるため、その特性を十分発揮できるように使用する。カトレア、ユリ、アンズリウムなど。

・マスフラワー

かたまりになった花。花の形が大きく丸いもので、フォームフラワーとラインフラワーの中間に位置している。また、葉のマスはほとんどない。アジサイ、カーネーション、バラ、キク、ヒマワリなど。

・フィラーフラワー

個々の花が小さく、1枝または1本の茎にたくさんの花が付いてる。花と花の間の空間を埋めて、つなげる役割をする。かすみ草、ワスレナグサ、ワックスフラワーなど。

○植物の姿・形からくる主張度による分類

主張度として分類する考え方では、「大きな主張」、「中程度の主張」、「わずかな主張」に分類される。しかし、主張度がはっきり確立している植物と、必ずしも主張の度合いが絶対的ではなく、同一種でも異なって分類される植物もある。

- ・大きな主張

自己主張（主張度）が強く、周りに広い空間を必要とする植物。存在感があり、支配的で、高貴な植物。コチョウラン、デルフィニウム、ダリア（大輪）など。

- ・中程度の主張

数本をグループにして使うことによって、強く魅力を発揮し、華麗な美しさを演出する植物。チューリップ、キク、アジサイ、バラなど。

- ・わずかな主張

主張度が低く、個々の花の存在感が弱く、群生しているように用いられることによって個性を発揮する。ビオラ、ナデシコ、ワスレナグサなど。

○形態

目に見える状態、ありさま。

- ・能動的な形態。

自らの力で伸びていくような外向的なイメージの植物。デルフィニウム、ユリ、ヒマワリ、フリージアなど。

- ・受動的な動きの形態

動きを感じさせない内向的なイメージの植物。キノコ、アイビーなど。

○テクスチュア（質感）

花や葉、枝、実などの表面の特徴、手触り、木目などのこと。

- ・金属的

硬く、光沢があり滑らか。アンスリウムなど。

- ・ガラス的

滑らかで透明感がある。キンポウゲなど。

- ・シルクの

柔らかく、繊細。ラナンキュラス、スイートピーなど。

- ・革的

光沢があり、滑らか。ツバキの葉、ゲイラックスなど。

- ・ビロード的

柔らかく、深みがある。深紅のバラなど。

- ・ウールの

ふわふわして柔らかい。ケイトウ、ネコヤナギなど。

- ・磁器的

すべすべして、光沢がある。ヒヤシンス、ススランなど。

この他にも、「色彩」、「香り」、「キャラクター」で分類される。

2-2 フラワーメイクについて

フラワーメイクの前例について調査をした。花冠や髪飾りなど、頭に花を飾ることは馴染みがあると考えられる。最近では「HANANINGEN」という頭の上に直接オアシスという土台をつけ、花のアレンジメントを作り、写真を撮るというサービスが登場した^[2] (図6)。このサービスは店頭に並んでいる花から1種類花を選び、フローリストがその他に使用する花を選ぶ。また、年齢によって花を飾る位置が異なり、年齢が若い程頭の真上に近く、年齢を重ねる程首元に近い位置になる。この時使用した花は持ち帰ることはできなく、写真はデータのみ販売である。



図6：HANANINGEN^[2]

しかし、花を顔に直接飾るサービスを大々的に行なっているところは見つけられなかった。雑誌や広告では稀にみられるが、それらは花に焦点を当てたものではなかった。若者を中心に使用されている TikTok の一部の動画クリエイターが花弁やシールを顔に貼って投稿を行なっている。この場合も、使う花の魅力伝える物ではなく、あくまでメイクの一環として行われているように感じた。よって、一般の若い人に花の魅力を伝えるためのフラワーメイクは新規性があると考えられる。

2-3 現状の問題点と改善点

花を使ったサービスが浸透していない原因について調査を行なった。最も大きな原因は、花を使ったサービスは費用が高いことであると考えられる。花を使った装飾は、冠婚葬祭や商業施設で見られるものの、そのような花を使ったサービスは費用が多くかかり、個人で手軽に利用できないものである。お祝いや特別な日のための花束やアレンジメントは平均 3000 ～ 5000 円程かかる。

今回は、多くの人に手軽に、花の魅力を知ってもらうことが目的である。そのため、特別感を感じられるが、費用が抑えられ、かつ手軽に受けられる値段のサービスを提案することにした。

第3章 試作

3-1 コンセプト

今回提案するサービスのコンセプトは『花の魅力を伝えるフラワーメイクサービス』である。2-1で述べた様に、頭上に花を飾るサービスは既に存在するため、花を直接顔に飾るフラワーメイクを中心に提案する。

サービス名である「Shall We Flower?」は映画の題名「Shall We Dance?」のように、本サービスを受け、華やかな気持ちになることを願い命名した。

3-2 アイデア展開

3-2-1 色とアイデアスケッチ

・色の心理的効果

参考資料^[3]によると(図7)のようである。黒や灰

これに加え。明度が高いパステルカラーの色は優しさを感じさせる。また、彩度の低いくすんだ色は、彩度の高い鮮やかな色より重く感じる。

赤	太陽・火・血・革命・健康・情熱・歡喜
赤みのだいだい	陽気・活発・元気・喜び・暖かい
黄	健康・明朗・明るい・楽しい・陽気・軽快
黄緑	若さ・新鮮
緑	平和・安全・平穩・安らぎ・うるおい
緑みの青	清涼・清澄・知性・落ち着き・忠実・希望・理知
青紫	高貴・神秘・女性的・気品・優雅・不安
白	清純・清潔・神聖・崇道・純粋
灰	落ち着き・不安・迷い・地味・ゆううつ・あいまい
黒	不安・死・陰うつ・不潔感・罪悪・静寂

図7：色の心理効果

- ・色の組み合わせ

色の組み合わせで連想されるイメージを調査した。同系色の組み合わせでは、安心感を与えるが、平凡で印象が薄くなりやすい。反対色に近い色の組み合わせでは、鮮烈な印象を与えるが、不安定な印象を与える。

- ・肌の色との調和

フラワーメイクは人と花の両方がメインであり、その2つが調和しているべきだと考えた。肌が黄色みを帯びている人には、オレンジや黄色、緑、また、肌が青みを帯びている人には、青や青みがかったピンク、紫が合う。

- ・花の配置

通常の化粧のアイラインの描くときを参考にした（図8）のように、左から2番目のように横に描くとシンプルれスッキリした印象になる。左から3番目のように下に下げたように描くと垂れ目のように見え優しい印象になる。右端のように上に跳ね上げるように描くと猫目のようになり、強く華やかな印象になる。花弁を目元に付けた時も同様に、目尻に横長に花を付けるとすっきりとした印象になる（図9）。目の下の方に多く付けたと優しい印象になる（図10）。目の上の方に多く付けると華やかな印象になる（図11）。



図8：アイラインの描き方



図9：横長に花卉を付けたフラワーメイク



図10：下に花を付けたフラワーメイク



図11：上に花を付けたフラワーメイク

目元のフラワーメイクを施す際に、眉毛と目の間にあまり多くの花を付けることができなく、目の下の方が多くの花卉を付けることができると考えられる。使う花の色合いイメージを変えることができるが、花の配置でもイメージを変えることができる。

フラワーアレンジメントを作るときと同様、

3-2-2 使用する材料の検討

初めに、使用する花を検討した。

・花卉の大きさ

目元にメイクするため、小さい花卉を使用することとした。また、大きい花卉はハサミなどを使用し、使用しやすい大きさ、また、花として不自然にならない形にカットして使うことが可能であることもわかった。

小さい花卉：ヒメアスター、デルフィニウム、かすみ草、紫陽花、チース、
マトリカリア、など

大きい花卉：カーネーション、バラ、ユリ、など

・ドライフラワーにした時の変化

ドライフラワーにした時の色や形に変化を調査した。色も形も変化が大きい花は、色合いが美しくなくなってしまうため、ドライフラワーとして利用するのに向かないと考えられる。この変化は生花を使用した際、長時間経った変化の様子と同じである。そのため、そのよう花を使用したいと考えている場合には、長時間たった花の状態を説明できるようにする。

色も形も変化が少ない：かすみ草、チース、センニチコウ、紫陽花、など

色の変化が大きい：バラ（特に色が薄いもの）、主に白い花など

形の変化が大きい：デルフィニウム、カーネーション、マトリカリア、など

色も形も変化が大きい：ヒメアスター、ユリ、ガーベラ、など

次に、花をつける接着剤を検討した。まず、フラワーアレンジメントに使用する接着剤を使用した。その際、花は固定することができたが、皮膚の負担が大きく、痛みや腫れが生じた。そこで、肌に優しい接着剤を探すことにした。花びらは軽いため、強い接着力は必要ないことから、肌の保湿にも使用されるワセリンを使用することにした。実際に使用したところ、激しく動かす、強い風を顔に当てるなどをしなければ、メイクが崩れることはなかった。フラワーメイクを施したまま、3時間ほど過ごしたところ、花の位置に大きな変化は見られなかった。

3-2-3 試作

実際にフラワーメイクを自分で試した。1つ目は、生花のヒメアスターとカーネーションを使用し、メイクを行った。ヒメアスターは、大きさを加工せずに使用でき、カーネーションは大きさを整える必要がある。このように異なる使い方を試すことができるため、この2つを使用した。生花のメリットは、花本来の色合い、質感を楽しめることである。一方、デメリットとしては、ピンセットや手で強くつまんだり、長時間経つと変色してしまうことである（図12）。



図12：生花でのフラワーメイク

次に、ドライフラワーのかすみそうとデルフィニウムを使用しメイクを行なった（図13）かすみ草は花が小さく、また、枝も小さいため、枝についたままの状態でもフラワーメイクに使用することができると考え、試作に使用することとした。デルフィニウムはドライフラワーにすると花卉が少し透けるような色味になる。ワセリンを使用しても花に沁みてしまわないかを確認するために使用することとした。ドライフラワーのメリットは、フラワーメイクを行なっている間に変色する心配がなく、家に持ち帰っても、長い間楽しむことができること、また、現在若い人に人気であることである。デメリットとしては、生花の鮮やかな色合いや質感が失われてしまう花もあることである。



図 13：ドライフラワーでのフラワーメイク

フラワーメイクを行ったところ、かすみ草は枝も使用することができるが、安定させることが難しいと感じた。写真撮影のみなど短時間の使用であれば問題なく使用することができる。デルフィニウムはワセリンを塗っても花卉に染みることがなく使用することができた。

この試作によってフラワーメイクをする際の花の貼り方、相応しい大きさなどを調べることができた。

3-2-4 サービスの流れ

人々にフラワーメイクはどのようなものかを知ってもらってから、実際に人にサービスを受けてもらうまでの過程とそれに伴い、準備する必要がある行動、必要となる道具や場所を可視化した。これを基にサービスの内容を考えた(図 14)。



図 14：フラワーメイクサービスの流れ

ここから考えたサービスの流れは以下のである。

①カウンセリング

メニューブックを見ながら使う花、デザインを考える。使う花は基本好きな花を選んでもらうようにする。試着アプリでメニューブックのデザインは試すことができる。選ぶことができない場合は、肌に合う色の花、好きなイメージを聞き、考える。

②メイクアップ

カウンセリングで決定したデザインをメイクする。椅子に座ってもらいメイクを行う。ワセリンを花の裏に付け、ピンセットを使い、大きめの花卉は1枚1枚貼り付け、かすみ草やチースは枝を付けて貼る場合もある。オプションで髪飾りをつけた場合は、余った花で髪飾りを作る。髪にはヘアピン、またはワイヤーで髪に付ける。

③写真撮影

背景のスクリーン、壁の前に立ち撮影。顔のアップを中心に撮影する。演出として、メイクに使わなかった余った花を持って撮影しても良い。撮影後、メイクを付けたままでも良い、また、余った花は持ち帰ることができる。

④データ受け渡し

撮った写真を見てもらい、選んでもらう。選んでもらった枚数は加工しデータをメールで送る。加工していない写真も希望があれば送る。

3-3 制作

3-3-1 メニューブック

フラワーメイクの見本を制作し、冊子にした。冊子はA4サイズ、8ページである。見本の他に、フラワーメイクについて、フラワーメイクの手順などを掲載している（図15）。見本表はドライフラワーを使用したフラワーメイク、9種類を掲載している。見本が目に入りやすいように文字が少なくシンプルで、文字や背景の色味を抑えた。

完成版は付録に掲載している。



図15：フラワーメイクの見本表

フラワーメイクのサンプルには使用している花の種類と色を紹介しており、簡単な使用シーンも紹介している。

メニューブックにサービスの値段を載せるため、フラワーメイクサービスの値段を検討した。

まず、花を使用するので、花の原価、売値を調査した。生花の原価を調査した。

- ・デルフィニウム (50cm1本) 約 300 円
- ・バラ (1本) 約 150 ～ 300 円
- ・チース (1本) 約 100 ～ 200 円
- ・かすみ草 (60cm1本) 約 180 円

生花の売値を調査した。

- ・デルフィニウム (30cm1本) 約 500 円
- ・バラ (1本) 約 300 ～ 500 円
- ・チース (1本) 約 500 円
- ・かすみ草 (30cm1本) 約 500 円

このように、花の原価や1本の花の付きが異なるので、単価が低い花は本数を多くし、花の付きも考慮し調整する。

次に、一般的な写真館でのサービスの値段や内容を調査した [4]。

- ・撮影料金

撮影料金の相場は 3000 円

- ・プリント料金

プリント代の一般的な大きさは 1,127 mm × 178 mm の 2L となり、相場は 1 枚あたり 3000 円ほど、254 mm × 305 mm の四つ切になると倍の 6,000 円ほど、457 mm × 570 mm という大型の全紙サイズなら 1 万円ほどの相場となる

- ・データ

データの作成は数カットなら 5000 円程度で済むことが多い。しかし商品購入なしで撮影料 + データ作成だけだと、フォトスタジオや写真館が損をしてしまう可能性も高いため、一般的には「〇万円以上購入した場合」や、「〇セット以上の購入で」といった条件を満たした場合のみデータ販売を行うことが多い。

今回提案するサービスでは手軽にサービスを受けられるよう、値段を抑えたいため、写真のプリントは行わず、データのみ販売することとする。

これらから、花 (3種類) + 編集済み写真データ (5枚) が基本のセットとし、2000 円に設定した。編集していない画像データは希望があれば渡すこととする。

オプションとして花1種類、髪飾り、ヘアメイク、アイメイクをそれぞれ500円で追加できることとする。髪飾りはフラワーメイクを行った際に余った花を使用する。そのため、HANANINGEN^[2]のように大きな飾りではなく、手のひら程度の大きさのものになる。ヘアメイクはヘアアイロンで跳ねている髪を直すや、巻き髪にする程度のオプションである。アイメイクは、アイシャドウやアイラインを付け足し、フラワーメイクに合う目元に仕上げることを目的に行うオプションである。

3-3-2 試着アプリ

Instagram のエフェクト機能を使い、フラワーメイクを試着できるようにした。この機能により、自分に合う形や色を試すことができる (図 16)。

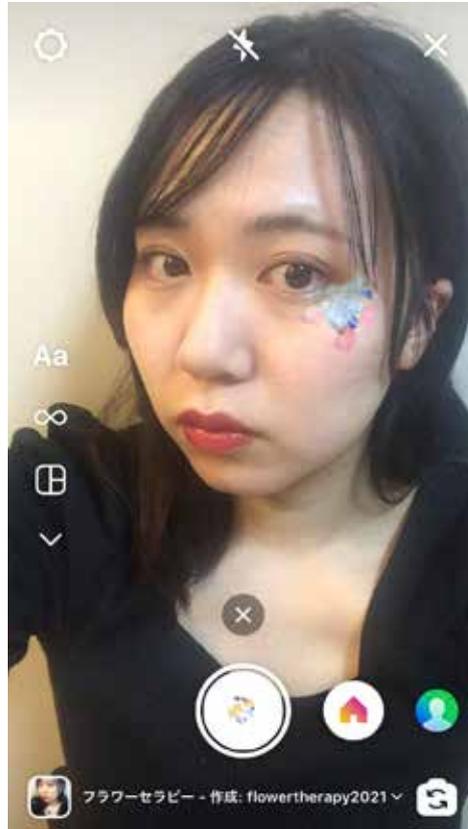


図 16：エフェクト使用

Instagram のエフェクトとは、Instagram のストーリーで写真を撮る際に、その際、顔や背景に絵や模様をつけることができる機能である。今回は「SparkAR」という Instagram 用の AR エフェクトを制作できるアプリを使った。

このエフェクトを使うと、顔を撮影すると目の位置や大きさを認知し、その人に合うサイズで花がついている様に撮影することができ、試着しているかの様な写真を撮ることができる。

エフェクトの制作方法の Web サイト^[5]を参考に制作を行なった。

①素材の準備

今回は顔の位置を正確に把握できるように顔型の 3D オブジェクトである Face Mesh^[6]を使用するため、Face Mesh 用の素材^[6]をダウンロードし、フラワーメイクをした写真から花の部分を目元に付ける。

② SparkAR の顔を正確に認識する機能である The Face Tracker^[7] で顔に素材を表示させる。

①素材をインポートする

② The Face Tracker をインサート

顔を認識し、素材が追従する様になる。

③ Face Mesh をインサート

素材を表示させるパネルある。

④ Materials を作成する

③ Patch editor で画像をタップするとエフェクトが切り替わる様に設定する。

今回は4種類に試すことができるよう設定した(図17)。

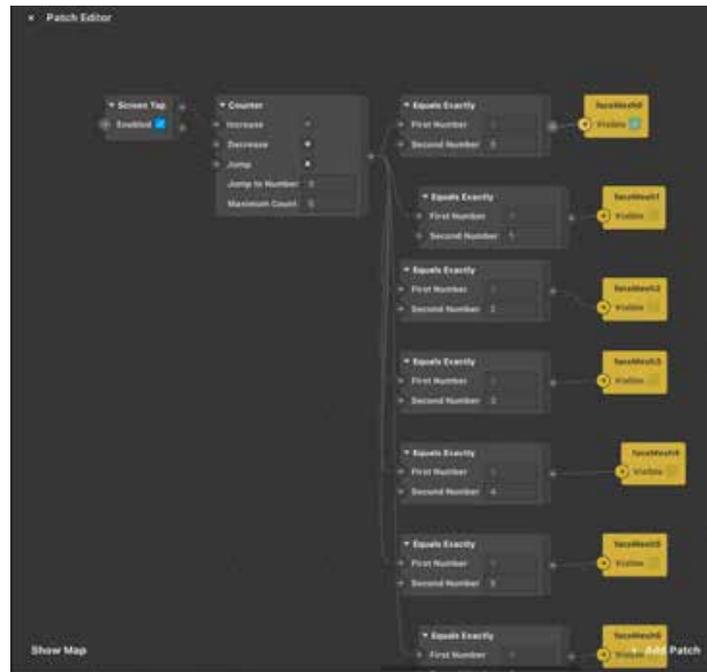


図17：Patch editor

④テスト撮影後、デモ動画を撮影する。

⑤申請を行う。

SparkAR の管理画面「SparkAR Hub」でエフェクト申請を行う^[8]。

申請が通ると Instagram で使用が可能になる。

3-4 実際にフラワーメイクを行う

実際に対面でフラワーメイクを実施した。手順は3-2-4にある通りである。撮影は、知人のモデルに依頼し、本学の写真スタジオで行った。今回は、ドライフラワーを数種類用意した（図18~20）。



図18：基本メニューのフラワーメイク



図19：オプションで髪飾りと花一種類追加したフラワーメイク



図 20：フオプションで髪飾りを追加したフラワーメイク

実際にフラワーメイクを行い、撮影をすることによってかかった時間がわかった。

- ・カウンセリング・・・10～20分
- メイク・・・・・・・・・・5分
- + 髪飾り・・・・・・・・2～3分
- + ヘアメイク・・・10分
- + アイメイク・・・5分
- 写真撮影・・・・・・・・10～20分

また、このサービスを受ける前は、家に花を飾る習慣はなかったそうだが、この撮影を行った後、フラワーメイクに使用した花、髪飾り、余った花を家で飾るようになったという連絡をもらうことができた。ことから、以前より、花が身近になったと考えられる。

第4章 アンケート調査

4-1 調査方法

11月17日～11月18日の期間に Microsoft Forms を使用してアンケートを行った。本学のデザイン学部の学生、36名から回答を得ることができた。

アンケートの質問内容については以下の通りである。

①下の写真（図21）のようなフラワーメイクをしたいと思いませんか



図21：アンケートに使用した写真

②上記の質問（設問①）で、はいと答えた方に質問です。

どのような場面でフラワーメイクをしてもらいたいですか

③上記の質問（設問②）でその他と答えた方に質問です

その他で具体的に回答できる場合は記入してください。

④設問①で、はいと答えた方に質問です。

フラワーメイクをどのような場所で行いたい、またされたいですか。

（選択肢にある「家」は、フラワーメイクの見本や手順を紹介する動画がある設定です）

⑤上記の質問（設問④）でその他と答えた方に質問です

その他で具体的に回答できる場合は記入してください。

- ⑥設問①でいいえと答えた方に質問です。
 いいえと答えた理由を教えてください。
 当てはまる選択肢にない場合はその他をお選びください。
- ⑦上記の質問（設問⑥）で「わざわざフラワーメイクをしに外出することが面倒」と答えた方に質問です。
 家でできるならばフラワーメイクを行いたいと思いますか。
- ⑧設問⑥でその他と答えた方に質問です。
 その他で具体的に回答できる場合は記入してください。
- ⑨このフラワーメイクにより（普段から花を飾りたくなったなど）花により興味を持ちそうですか。
- 1 全く持ちそうにない
 - 2 持ちそうにない
 - 3 余り持ちそうにない
 - 4 まあまあ持ちそう
 - 5 持ちそう
 - 6 とても持ちそう
- ⑩フラワーメイクについて気になることがあればお書きください。

4-2 調査結果と考察

上記のアンケートを実施した結果、以下の様な回答を得ることができた。

①フラワーメイクをしたいと思っている人は36人中21人で約58.3%にあたり、半数以上がフラワーメイクをしてみたいと考えていることがわかった（図22）。

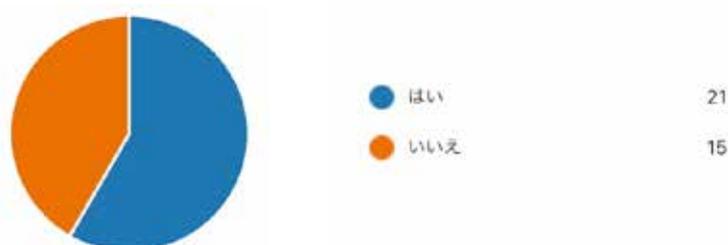


図22：設問①の結果

②フラワーメイクをしていきたい場面は選択肢の中では結婚式が最も多く、何もない日にはあまり需要がないことがわかった（図23）。

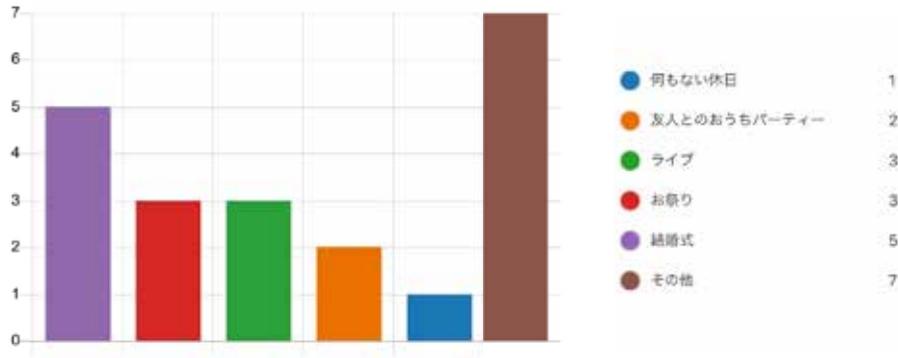


図23：設問②の結果

③設問②で「その他」と答えた人の多くは「成人式」と答えていた。このことから、フラワーメイクは日常ではなく、少し特別な場面に需要があることがわかる。

④86%の人が「花屋や写真館などのお店（店員が行う）」でフラワーメイクを受けたいと考えていることがわかる（図24）。



図24：設問④の結果

⑤この質問は該当者がなかった。

⑥フラワーメイクを受けたくない理由として、選択肢の中では「フラワーメイクに興味がない」と答えた人が最も多かった（図25）。

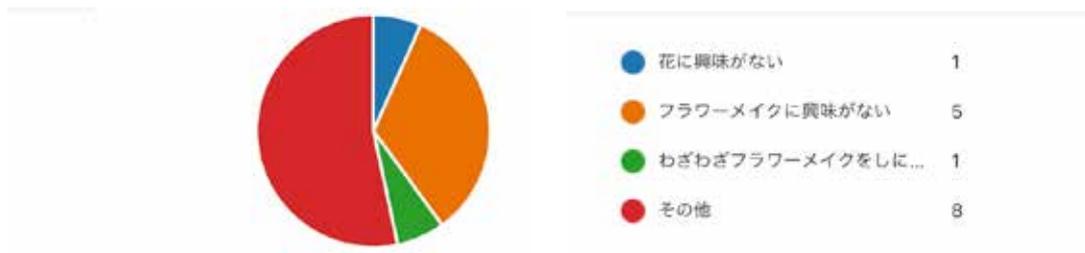


図 25：設問⑥の結果

⑦この質問の該当者が1人であったため、フラワーメイクをしに外出したくない人が家で
 行うことができても行いたいと思わないと断定することはできなかった。

⑧設問⑥で「その他」と答えた人からはさまざまな意見が得られた。

○フラワーメイクされた人を鑑賞したいという意見として、

- ・メイクをされた人を見る方が楽しいから
- ・花やフラワーメイク自体には興味はあるが自分がそれをするにはあまり
 興味はない。他人が施されているのを見るのは楽しそう。

○フラワーメイクを自分が受けることが想像できないという意見として、

- ・男なのでメイクをしない
- ・フラワーメイクに限らず、自分自身を飾ることにあまり興味がないです。
- ・男性であるため、雰囲気と結びつかないから。

○肌への負担を心配する意見として、

- ・アトピーなので、ワセリンや花が顔に付くと肌荒れする可能性が高いため

⑨「とても持ちそう」という回答を6点、「全く持ちそうにない」を1点として、回答
 の平均を取ると、今回の結果は4.31 だったことから、フラワーメイクによって、花に対
 してある程度はより興味を持ってもらえそうであることがわかった。

⑩その他、フラワーメイクについて様々意見を得ることができた。

○日常には向かないのではないか、という意見として、

- ・現実的なことを言いますが、撮影だけのメイクになってしまいそうだと感じました。今は特にマスクをしているし、正直このメイクで外に出たいとは思えないなと思いました。

○男性のモデルも必要なのではないか、という意見として、

- ・男性に似合うお花ってあるのだろうか。顔じゃなくて首元とか場所にもよる？
- ・心身共に男性体質な人にオススメなフラワーメイクはあるのでしょうか。

○人体の影響を心配する意見として、

- ・花粉とか大丈夫なのかな～と思いました
- ・肌が弱い人は難しそうだと思います

第5章 フラワーメイクの改善

5-1 試作からの変更点

4-2のアンケート結果をふまえて、改善すべき点をまとめた。

まず、男性にフラワーメイクは似合うのか、という質問が多く寄せられた。現在メンズメイクが身だしなみとしても、個性を出すツールとしても注目されている^[9]。現在でもメイクは女性が主流であるという考えが強いものの、男性のアートのメイクも需要が出てくるのではないかと考える。3-2-3のInstagramのエフェクトを使いフラワーメイクを試してもらい、自分に合うフラワーメイクを見つけられるのではないかと考えられる。また、今回は行うことができなかったが、男性モデルにもフラワーメイクを行い、よりイメージしやすくしたいと考える。実際に男性にフラワーメイクを行うことはできなかった。代わりに、フリー素材^[10]を使用し、男性にフラワーメイクを合成した(図26)。これにより、フラワーメイクをしたときのイメージをより持ってもらえると考えられる。



図26：男性にフラワーメイクを合成

次に、花粉症の人のフラワーメイクを行うときの対策である。花粉症を引き起こすと考えられる花で、観賞用としてよく使われている花はバラである。バラ科の食物アレルギーを持っている人にも注意が必要である。また、バラの棘に稀に付着している薬品で肌がかぶれる人がいるので、トゲには細心の注意を払うこととする。フラワーメイクを行う際のカウンセリング時に、アレルギーの説明を付け加え、アレルギーを引き起こす可能性がある植物を使用しない様にする^[11]こととする。

そして、接着剤であるワセリンの肌への負担の問題である。肌の心配を軽減するために、より肌に優しいベビーワセリン^[12]を使用することにする。しかし、人によってはベビーワセリンでも使用できない可能性もある。そのため、フラワーメイクを受ける人が普段使用しているクリームを使用することもできることとする。

実際にワセリンの代わりにより肌に優しく、粘着力が小さいクリームを使用し、フラワーメイクを行った（図 27）。水分が多く、花が水を吸って色に変色するのではないかと心配があったが、変色することがなく、粘着力が小さくてもずれることがなかった。しかし、激しく頭を動かす、風が当たるなどした場合は、ワセリンを使用した時と同様ずれてしまう。



図 27：肌が弱い人のクリームを使用したフラワーメイク

第6章 結論と展望

6-1 結論

4-2のアンケート結果から、フラワーメイクサービスの需要はあり、ある程度花により興味を持ってそうであるということがわかったため、本研究の目的である「花により興味を持ってもらうためのフラワーメイクサービスの提案」は達成できたと考えられる。

本研究を通して、花は特別なものという意識が大きいことがよりわかった。そんな花をより日常に存在し、人々に癒しを与えられるサービスや作品を作りたいと感じた。

6-2 展望

今後、市場縮小や、規格外として廃棄される花の削減に取り組みたいと考えている。その方法として、花屋で売れ残った花やフラワーアレンジの教室で余った花を使用することを提案する。結婚式やチャペルで使われた花の多くはそのまま廃棄されてしまっている。まだ鑑賞するには十分なのだが、商品にはすることができないそうである。その様な花をフラワーメイクに活用したい。フラワーメイクでは基本、花びらを使用するため、短く切られてしまっていたり、一部、商品にならない損傷があっても問題はない。このように、フラワーメイクを通じて、環境問題改善に少しでも関わりたいと考えている。また、4-2のアンケートで、「メイクをされた人を見る方が楽しいから」という意見があったことから、環境問題改善の活動のSNSやポスターにも使用できると考えられる。

フラワーメイクにより、多くの人が新たな花の魅力を感じ、これまで以上に花が身近な存在になることで、潤いのある生活を送ることができる社会になることを願っている。

謝辞

本研究を進めるにあたり、お忙しい中、丁寧なご指導をいただきました札幌市立大学デザイン学部講大淵一博講師に感謝いたします。また、コロナ禍で、オンラインでのアンケートや対面でのモデル撮影に快くご協力していただいた皆様へ心から感謝の気持ちと御礼申し上げ、謝辞にかえさせていただきます。ありがとうございました。

参考文献・参考サイト

- [1] 日本フラワーデザイン協会、「新 NFD フラワーデザイナー資格検定試験テキスト」、講談社エディトリアル、2018
- [2] HANANINGEN 世界一花を愛せる国を作る、<https://www.hananingen.com/>、2020年7月21日閲覧
- [3] 文部科学省検定済教科書7実教農業008高等学校農業科用、「草花」、実教出版株式会社、2010
- [4] フォトスタジオ・写真館での撮影料金とは、<https://photonoba.com/money/>、2022年1月11日閲覧
- [5] [初級編] SparkAR で AR エフェクトを作成しよう、<https://blog.members.co.jp/article/42944>、2021年6月17日閲覧
- [6] SparkAR Studio の顔参照アセットを使用する、<https://sparkar.facebook.com/ar-studio/learn/articles/people-tracking/face-reference-assets/>、2021年12月9日閲覧
- [7] The Face Tracker、<https://sparkar.facebook.com/ar-studio/learn/articles/people-tracking/face-tracker/#properties>、2021年12月9日閲覧
- [8] SparkAR の管理画面「SparkAR Hub」、<https://www.facebook.com/sparkarhub/publish/effect/>、2021年6月17日閲覧
- [9] 男子メイク、<https://www.mensnonno.jp/tag/男子メイク/>、2021年11月30日閲覧
- [10] 3.425 点の男性 顔 日本人のストックフォト -Getty Images、<https://www.gettyimages.co.jp/写真/男性-顔-日本人>、2022年1月11日閲覧
- [11] 花粉図鑑 アレルギーを引き起こす植物たち、<http://kafun-rescue.jp/prevention/pictorial-book/other.html>、2021年11月30日閲覧
- [12] 乾燥肌を予防しよう！「ベビーワセリン」健栄製薬、https://www.kenei-pharm.com/baby-waserin-m/?utm_source=yahoo&utm_medium=cpc&utm_campaign=babywaserin&utm_content=top&yclid=YSS.EAAlQobChMIx_2Gi-DE9AIVWHZgCh0tZQbmEAAYASAAEgJ5VfD_BwE、2021年11月30日閲覧

Shall We Flower?



『花とあなたを魅せるフラワーメイクサービス』



Shall We Flower? について

『花とあなたを魅せるフラワーメイクサービス』

フラワーメイクにより
特別な体験をお届けします
ご自身と花の新たな魅力を
お楽しみください

料金

花（3種類）+写真データ（5枚）・・・2000円

OPTION・・・・・・・・・・・・・・・・各500円

- 花一種類
- 髪飾り
- ヘアメイク
- アイメイク

Process

1 カウンセリング

メニューを見ながら使う花や形を決めます

2 メイクアップ

使う花と揃えた髪飾りも作ります

3 写真撮影

背景と共に撮影します

4 画像編集

画像を編集しお渡しします

Sample



涼

- ・デルフィニウム (skyblue,blue)
- ・かすみ草 (white)

使用シーン
結婚式、同窓会



舞

- ・バラ (lightpink)
- ・かすみ草 (white)
- ・センニチコウ (red)

使用シーン
入学式など春の行事に



愛

- ・バラ (pink,lightpink)
- ・デルフィニウム (skyblue)

使用シーン
ホームパーティーなど楽しいシーンに

Sample



凜

- ・デルフィニウム (skyblue,blue)
- ・かすみ草 (white)

使用シーン
落ち着いたシーンに



鮮

- ・バラ (yellow)
- ・デルフィニウム (skyblue, すず blue)

使用シーン
お祭り、卒祭など楽しいシーンに



夢

- ・バラ (pink)
- ・デルフィニウム (skyblue,blue)
- ・かすみ草 (white)

使用シーン
結婚式など、華やかなシーンに

Sample



明

- ・バラ (yellow, lightpink)
- ・デルフィニウム (skyblue)
- ・かすみ草 (white)

使用シーン
お祭り、学祭など楽しいシーンに



華

- ・バラ (pink, lightpink)
- ・デルフィニウム (skyblue)
- ・かすみ草 (white)

使用シーン
結婚式など、華やかなシーンに



輝

- ・バラ (yellow, pink)
- ・デルフィニウム (skyblue, blue)
- ・かすみ草 (white)

使用シーン
お祭り、学祭など楽しいシーンに

attention

- ・植物にアレルギーのある方はお申し付けください
- ・接着剤にワセリンを使用します
- ・事前にアイメイクをしていただいても構いません
- ・使用した花はお持ち帰りいただけます
おうちでもお花をお楽しみください
- ・写真はデータとして送付させていただきます

Shall We Flower?

Shall We Flower?